第９編　付　　表

１０５．森町略年表

西　暦	年　号	事　項
2005	平成17年	森町・砂原町合併する（４月）。森町開町式（７月）。町民憲章、町章、町花（さくら）、町木（茅部ぐり）、町鳥（カモメ）制定する（９月）。非核平和の町宣言、交通安全の町宣言、暴力追放・防犯の町宣言、無火災の町宣言（９月）。町旗を制定する。（11月）。鷲ノ木小学校開校50周年（11月）。ちゃっぷ林館入館者200万人達成（11月）
2006	平成18年	役場増築庁舎完成(1月）。鷲ノ木５遺跡環状列石が国指定の史跡となる（１月）。森町リサイクルプラザ完成（３月）。森町地域包括支援センター事業開始（４月）。森町行政改革推進委員会答申（４月）。高橋知事来町、ニチロ工場視察後、ネイパル森で「まちかど対話」（４月）。森町消防防災センター完成（10月）。さわら小学校開校10周年（９月）。
2007	平成19年	森町地球温暖化対策実行計画策定（３月）。森町消防団と森町砂原消防団が統合、森町消防団発足（４月）。森町学校給食センター移転改築（４月）。森町地域活動支援センター開設（４月）旧姫川小学校。森町障がい者基本計画・障がい福祉計画策定（５月）。森町国民保護計画策定（４月）。高橋知事来町、国指定史跡鷲ノ木遺跡視察（７月）。交通安全指導車寄贈される（砂原ライオンズクラブ創立20周年）（８月）。森町交流支援センター完成（９月）。第１次森町総合開発振興計画策定（12月）。森町沼尻いこいの広場完成（12月）
2008	平成20年	公共施設へＡＥＤ（自動対外式除細動器）寄贈される（森ライオンズ認証45周年）（５月）。静岡県森町から、まつり屋台「豊合社」が寄贈される。（11月）（友好町40周年記念）
2009	平成21年	公共施設へＡＥＤ（自動対外式除細動器）・車椅子が寄贈される（森町物産センター創立20周年）（６月）。鷲ノ木遺跡・鷲ノ木４遺跡から出土した縄文時代「イカ形土製品」「鐸形土製品」６点を町指定文化財とした。（７月）
2010	平成22年	小冊子「森町の桜～樹齢百年桜への途～」・「自然ガイドブック～森町の花と野鳥～」が刊行される（３月）。第１回楽市楽座もりまち食KING市が開催される（５月）。駒ケ岳の入山規制が一部緩和される（６月）。森青年会議所創立４５周年記念事業大花火大会が開催、森稲荷神社御鎮座300年前夜祭神輿渡御（８月）。
2011	平成23年	東日本大震災被災地へ森町救援隊が救援物資を届ける(4月)。 高橋知事来町、食KING市を視察（７月）。札幌交響楽団森町演奏会（創立50周年記念）（９月）。道央自動車道森インターチェンジ開通（11月）
2012	平成24年	静岡県森町との災害時における相互応援に関する協定書締結式が行われる(5月)。森町稲荷神社鎮座300年記念として、榎本武揚のひ孫にあたる榎本隆充氏を招き「子孫の語る榎本武揚～鷲ノ木上陸話～」講演会開催(9月）。道央自動車道大沼公園インターチェンジが、赤井川地区に開通（11月）。

西　暦	年　　号	事　　項
2013	平成25年	濁川活性化センター落成式(1月)。砂原漁協製氷貯氷施設完成(3月)。 2013プロ野球ドラフト会議で、吉田雄人氏（森中→北照高）がオリックス・バファローズから５巡目で指名される(10月)。

１０６．旧森町略年表

西　暦	年　　号	事　　項
1597	慶長２年	箱館・上磯付近より鷲ノ木にニシン漁の出稼ぎ者来る
1601	慶長６年	千歳末吉が鷲ノ木に移住（町内移住のはじまり）
1615	元和元年	吉田作兵衛・子之助が尾白内へ永住する
1640	寛永17年	駒ケ岳大噴火（６月）
1669	寛文９年	文献にはじめて「もり・とち崎・かやべ」の地名が載る
1695	元禄８年	茅部場所と野田追場所で境界論争が起きる
1738	元文３年	石倉・本茅部・蛯谷古丹・棒美・森が鷲ノ木の支村となる
1757	宝暦７年	茅部にニシン供養塔が建立（５月）
1791	寛政３年	紀行家、菅江真澄が尾白内に一泊
1796	寛政８年	イギリスのブロートンが内浦湾を「噴火湾」と命名する
1800	寛政12年	尾白内・宿野辺が鷲ノ木の支村となる（５月）
1801	享和元年	幕府六ヵ場所の村落を「村並」とする
1807	文化４年	石倉の加賀屋半左衛門が濁川に湯治場を開く
1831	天保２年	鷲ノ木に霊鷲庵（現霊鷲院）が建立（８月）
1845	弘化２年	松浦武四郎がエゾ地調査の途中、鷲ノ木に泊まる
1856	安政３年	駒ケ岳大噴火（８月）
1858	安政５年	箱館六ヵ場所の村並が「村」となる。鷲ノ木村が成立。 森・尾白内が鷲ノ木村より独立して森村・尾白内村となる（12月）
1860	万延元年	宿野辺が鷲ノ木村より独立して宿野辺村となる（２月）
1863	文久３年	宿野辺村に三界万霊塔が建立される（５月）
1865	慶応元年	森村でアイヌ墳墓盗掘事件が起きる（９月）
1867	慶応３年	森村と尾白内村に境界論争が起きる（９月）
1868	明治元年	徳川幕臣榎本武揚等、開陽などの艦船で鷲ノ木に上陸（10月）
1872	明治５年	開拓使森出張所が設立される（７月）。函館・森間の道路が完成（７月）。森郵便取扱所（現森郵便局）が開設（10月）。森・室蘭間に定期航路が開く（10月）
1873	明治６年	函館・森間に客馬車が通る（10月）。森村波止場（森桟橋）255mが完成する（11月）
1875	明治８年	森電信局が開局する（３月）。アメリカ人技師ライマンが鷲ノ木村の石油を調査する（６月）
1878	明治11年	森学校（現森小学校）が開校する（３月）
1879	明治12年	函館警察署森分署（現森警察署）が設置される（３月）
1880	明治13年	茅部山越郡役所・鷲ノ木２ヵ村戸長役場が開庁する（１月）。白澗学校（現尾白内小学校）が開校する（１月）。石谷学校（現石谷小学校）が開校する（９月）。森村に第九公立病院が開院する（９月）。鷲ノ木学校（現鷲ノ木小学校）が開校する（11月）
1881	明治14年	森外２ヵ村戸長役場が開庁する（４月）。森村に消防組ができる（５月）。明治天皇、北海道巡幸で森村に宿泊される（９月）

西　暦	年　　号	事　　項
1883	明治16年	宿野辺小学校（現駒ケ岳小学校）が開校する（８月）
1889	明治22年	森外５ヵ村戸長役場が開庁する（５月）
1890	明治23年	森・長万部間道路完成する（12月）
1897	明治30年	濁川の開拓が開始される
1899	明治32年	函館区裁判所森出張所（森登記所）が開庁する（４月）
1900	明治33年	森村農会が設立する（７月）。石倉尋常小学校（現石倉小学校）が独立・開校する（12月）
1901	明治34年	上濁川簡易教育所（現濁川小学校）が開校する（９月）
1902	明治35年	６ヵ村が合併して「森村」となり、二級町村制を施行する（４月）。第１回森村会議員選挙が行われる（６月）
1903	明治36年	函館・森間に鉄道が開通する（６月）
1907	明治40年	森村に一級町村制が施行される（４月）
1908	明治41年	森・室蘭間に定期航路が再開される（６月）
1911	明治44年	森村教育会が設立する（１月）。有限責任森村信用組合（現渡島信用金庫）が設立する（５月）
1914	大正３年	青葉ヶ丘グランドができる（６月）。青葉ヶ丘に吉野桜千本を植樹する
1915	大正４年	森郵便局、電話交換業務を開始する（加入者17）（11月）
1916	大正５年	森市街地に電灯がつく（453戸）（５月）
1918	大正７年	森村教育会で「森村郷土誌」をつくる（１月）
1919	大正８年	森村漁業組合が設立する（８月）
1920	大正９年	森冷凍工場（現㈱ニチレイフーズ森工場）で本格的に冷凍事業を開始する（８月）
1921	大正10年	森村が町制を施行し、「森町」となる（１月）
1925	大正14年	森町役場庁舎が新築落成する（現位置）（11月）
1927	昭和２年	渡島海岸鉄道（東森・砂原間）が開通する（12月）
1929	昭和４年	駒ケ岳大噴火（６月）
1934	昭和９年	森町立職業紹介所が開設する（４月）
1935	昭和10年	霞台に日本鉱業㈱が大盛鉱山を開鉱する（金・銀鉱）
1937	昭和12年	北海道拓殖銀行森支店が開店する（９月）
1938	昭和13年	森町観測所（現森測候所）が正規気象観測を開始する（１月）。森町漁港（船入澗）の起工式を行う（７月）
1939	昭和14年	字名地番を改正し、現在の27字名となる（５月）
1941	昭和16年	町立森実科高等女学校が開校する（４月）
1944	昭和19年	森電話中継所が開設する（１月）。北洋無尽森出張所が開業する（３月）
1945	昭和20年	国鉄森・砂原間が開通する（１月）
1947	昭和22年	公選森町長選挙が行われる（４月）。森簡易裁判所・森区検察庁が開庁する（５月）。森中学校が開校する（５月）。北海道森保健所が開設する（12月）
1948	昭和23年	北海道立森高等学校が開校する（４月）。森町農業協同組合が設立する（４月）。森町開拓農業協同組合が設立する（６月）

西　暦	年　　号	事　　項
1949	昭和24年	森町消防本部を設立する（１月）。森電報電話局が開局する（６月）。森漁業協同組合が設立する（８月）
1950	昭和25年	第１回森町さくらまつりが開催される（５月）。森商工会議所が設立する（10月）
1951	昭和26年	函館開発建設部森出張所が開設する（７月）
1952	昭和27年	赤井川小学校が独立開校する（４月）。森町全域に山火発生（焼失面積3,880ha・29棟焼失）（５月）。森町教育委員会発足する（11月）
1953	昭和28年	森町立診療所が開設する（６月）
1954	昭和29年	森町広報（現広報もり）が創刊される（５月）。森営林署が開庁する（７月）
1955	昭和30年	鷲ノ木小学校・姫川小学校が独立開校する（４月）
1956	昭和31年	自治省（現総務省）より財政再建整備町村の指定をうける（３月）
1957	昭和32年	森駅前広場拡張工事が完成する（３月）。森町公民館が完成する（４月）
1958	昭和33年	三岱小学校が独立開校する（４月）
1959	昭和34年	森町立養鱒場を開設する（５月）。アスパラの栽培始まる（５月）。森町消防署を設置する（10月）
1960	昭和35年	森町国民健康保険事業を開始する（４月）
1961	昭和36年	森観光協会が発足する（４月）。森町大火（焼失戸数633戸、損害総額22億2千万円）（10月）
1962	昭和37年	蛯谷漁港の起工式（２月）。森町消防本部庁舎が完成する（５月）。森青年会議所が設立する（10月）
1963	昭和38年	森産業会館が竣工する（11月）
1964	昭和39年	森町初の「現勢」（昭和39年版）を発行する（２月）。森川児童館が開館する（５月）。森町大火復興祭・火災復興土地区画整理事業完工式を行う（11月）
1965	昭和40年	国営駒ケ岳山麓総合土地改良事業調査が始まる。ほたて貝養殖事業が始まる（５月）
1966	昭和41年	森・森町漁業協同組合が合併する（４月）。鳥崎渓谷八景が決まる（10月）。森町の町章が決まる（12月）
1967	昭和42年	森町文化協会が設立する（７月）。森町役場庁舎が完成する（10月）
1968	昭和43年	森町の町旗を制定する（９月）。森町開基110周年記念式典（９月）。静岡県森町と友好町協定を結ぶ（10月）
1969	昭和44年	上台町に展望台が設置される（９月）。森町青少年会館が落成する（11月）
1970	昭和45年	第１回森町少年愛護会スポーツ大会を開く（８月）。濁川生活改善センターが竣工する（９月）
1971	昭和46年	町内小中学校で学校給食が始まる（１月）。森町福祉センター・森町公民館が開館する（12月）
1972	昭和47年	駒ケ岳が自然休養林に指定される（３月）。国道５号線森川・富士見間バイパスが開通する（12月）

西　暦	年　　号	事　　項
1973	昭和48年	鳥崎生活改善センターが落成する（９月）。上水道建設工事が始まる（10月）
1974	昭和49年	尾白内生活館が落成する（２月）。駒ケ岳特別母と子の家が竣工する（４月）。第１回森町産業まつりが開催される（８月）
1975	昭和50年	上水道の給水が開始する（１月）。赤井川特別母と子の家が竣工する（２月）。蛯谷生活館が落成する（３月）
1976	昭和51年	石倉西部福祉館が落成する（１月）。森町が大干害となる（８月）。森町漁村センターが落成する（12月）
1977	昭和52年	鷲ノ木生活館が落成する（１月）。森町民体育館が落成する（５月）。新川老人いこいの家・石倉生活館が落成する（12月）
1978	昭和53年	森町民野球場が完成する（９月）。森町会期120周年記念式典を行う（12月）。森町町民憲章を制定する（12月）。駒ケ岳・赤井川地区簡易水水道が完成する（12月）
1979	昭和54年	常盤福祉会館が落成する（１月）。下濁川生活改善センター・姫川福祉会館が落成する（12月）
1980	昭和55年	森町史が刊行される（３月）。北海道森保健所が落成する（３月）。町立森幼稚園が開園する（４月）。大規模年金保養基地グリーンピア大沼が開設する（７月）。本茅部福祉会館が落成する（11月）。森町農業集落センター（白川）が完成する（11月）
1981	昭和56年	森町葬苑が完成する（３月）。統合森中学校が開校する（４月）。鷲ノ木史跡公園が完成する（10月）。尾白内川サケ・マスふ化場が竣工する（10月）。尾白内南部生活改善センターが落成する（12月）
1982	昭和57年	身体障害者福祉会館「緑の家」が落成する（１月）。統合森中学校校舎落成式（６月）。森地熱発電所が営業運転を開始する（11月）。森高等学校新校舎落成式（12月）。濁川地区会館・東森生活館が完成する（12月）
1983	昭和58年	鷲ノ木史跡公園資料館（現鷲ノ木公園会館）が完成する（１月）。森町基幹集落センターが完成する（２月）。国道278号線砂原・森バイパスが開通する（４月）。特別養護老人ホーム「さくらの園」が開園する（４月）。オニウシ公園が完成する（11月）。三岱地区会館が完成（12月）。森川・姫川生活改善センター完成（12月）。地熱利用ハウス栽培温室完成（12月）
1984	昭和59年	´84森町ふれあい広場・オニウシ公園完成記念、札響グリーンコンサート開催（６月）。共進会場完成（10月）。濁川地区「豊かなむらづくり」で農林水産大臣賞に輝く（11月）。姫川小学校新校舎完成、焼酎「オニウシ」誕生・発売（12月）
1985	昭和60年	渡島支庁管内市町村サミット時、横路知事来町、地熱発電所、野菜栽培ハウスを視察（５月）。挽馬競技場完成（10月）。レクリエーション施設「緑とロックの広場」完成（10月）
1986	昭和61年	第２回環太平洋ＢＭＸ選手権大会開催（赤井川大沼カウベルビレッジＪ

西　暦	年　　号	事　　項
1986	昭和61年	ＢＡ国際ＢＭＸコース・駒ケ岳）（８月）。第１回森町社会福祉大会開催（９月）。オニウシ公園休憩所完成（12月）
1987	昭和62年	海岸保全施設整備事業完成（３月）。森町が「人権モデル地区」指定（４月）。森小学校新築工事着工（７月）。森蘭航路体験航海（８月）
1988	昭和63年	町花（そめいよしの）・町木（茅部ぐり）が制定（４月）。第42回全国レクリエーション大会（８月）。合同庁舎落成（ハローワーク・法務局・測候所）（10月）。森小学校校舎棟完成（11月）。展望物産館プラザ工事着工（11月）。森町開基130年記念式典を行う（12月）
1989	平成元年	展望物産館プラザオープン（４月）。第44回国民体育大会炬火リレー（９月）。森小学校屋内体育館完成（12月）。みどりヶ丘会館完成（12月）
1990	平成２年	第１回「動く広報」開催（８月）。森町と畜場（食肉センター）が完成（８月）。北海道防災シンポジウム開催（９月）。第１回もりまち健康フェスティバル開催（10月）。道々濁川温泉線の全線整備事業が完工（11月）
1991	平成３年	森町大通り商店街協同組合設立（７月）。青葉ヶ丘公園グランドナイター設備新設（９月）。森町高齢者事業団発足（10月）
1992	平成４年	親水ひろば完成（12月）
1993	平成５年	石倉小学校新校舎完成（１月）。森町国民健康保険病院新築工事着工（５月）。森小学校プール改築（７月）。石谷小学校新校舎完成（11月）
1994	平成６年	石倉漁港が完成（３月）。森町国民健康保険病院が完成（５月）。みどりヶ丘団地建替工事着工（８月）。大雨による災害（９月）。鳥崎橋架け替え工事完成（12月）
1995	平成７年	駒ヶ峯温泉ちゃっぷ林館完成（６月）。上台地区活性化支援センター完成（12月）。濁川小学校新校舎完成（12月）
1996	平成８年	駒ケ岳小噴火（３月）。グリーンピア大沼（ホテル棟・温泉保養所）オープン（４月）。ネイパル森（道立森少年自然の家）オープン（５月）。濁川開拓100年（11月）
1997	平成９年	鷲ノ木小学校新校舎完成（２月）。下水道事業の幹線工事開始（９月）第３次森町総合開発振興計画が答申（11月）。サン・ビレッジ森オープン（12月）。町防災行政無線施設工事完成（12月）
1998	平成10年	道の駅駐車場整備される（３月）。交通安全で自治大臣表彰を受賞する（４月）。ＮＨＫのど自慢全国放映される（10月）。ちゃっぷ林館に大露天風呂完成する（10月）。駒ケ岳が小噴火（10月）。もりまち140周年記念式典を行う（12月）
1999	平成11年	駒ケ岳火山防災会議がまちづくり大賞（自治大臣賞）を受賞する（１月）。新森墓地「もりまち霊園」の供用を開始する（４月）
2000	平成12年	駅前ふれあいセンター完成（３月）。介護保険事業はじまる（４月）。ちゃっぷ林館入館者100万人達成（７月）。ゴミの分別収集始まる（10月）高規格救急車を導入する（11月）
2001	平成13年	森町トマト集出荷選果施設完成（２月）。

西　暦	年　　号	事　　項
2001	平成13年	森町保健センター完成（３月）。下水道供用開始（３月）。 まちの駅完成（４月）。駒ケ岳火山噴火防災総合訓練（10月）。 駅前広場が完成（12月）。
2002	平成14年	完全学校週５日制施行（４月）。住民基本台帳ネットワークシステム始まる（８月）。定住対策用地「森町からまつの森」分譲開始（８月） 鷲ノ木遺跡の発見
2003	平成15年	駒ケ岳噴火史発行（２月）。姫川小学校閉校、石谷小学校休校（３月） ＪＲ森駅開業100周年（６月）。国道５号線道の駅に案内板（森ライオンズ認証40周年記念）（６月）。鷲ノ木遺跡の環状列石（ストーンサークル）と竪穴墓域の発見（６月）。定住対策用地「森町からまつの森」第２次分譲開始（７月）。森町・砂原町合併協議会設立（13月）。御幸清澄町内会創立40周年（11月）。
2004	平成16年	町水産系副産物再資源化施設落成（２月）。青葉ヶ丘公園に太陽電池時計が設置される（森ロータリークラブ創立40周年記念）（３月）。森町防火協会創立40周年（５月）。常盤町内会設立30周年（10月）。森町・砂原町合併協定調印式（10月）
2005	平成17年	森町女性団体協議会創立55周年（２月）。年金資金運用基金と森町でグリーンピア大沼の売買契約締結調印式を行う（２月）。森町と現地法人「グリーンピア大沼㈱」で賃貸借契約締結調印式を行う（３月）。森町閉町式（３月）

１０７．旧砂原町略年表

西　暦	年　　号	事　　項
1532	天文元年	砂原村に津軽の蟹田村から権四郎が初の和人として移住、開村する
1560	永禄３年	内浦神社が創建
1571	元亀２年	砂原村和人32戸となり１村を構成
1640	寛永17年	駒ケ岳、有史始まって以来の大噴火。内浦湾内外で大被害
1666	寛文６年	円空上人、内浦神社に仏像１体を奉納
1741	寛保元年	砂原稲荷神社が創建
1789	寛政元年	松前藩軍馬を砂原より室蘭の絵鞆に輸送
1796	寛政８年	英国船プロビデンス号が内浦湾に入る。噴火湾と命名
1799	寛政11年	東蝦夷地が幕府直轄となり、砂原に分屯陣屋を設置
1800	寛政12年	測量家の伊能忠敬が駒ケ岳を中心に測量。製図
1806	文化５年	幕府の蝦夷地警備において砂原陣屋を強化
1845	弘化２年	松浦武四郎、蝦夷地探検途上に来村
1855	安政２年	砂原南部陣屋が築造。箱館港の開港により、砂原の沿岸昆布が品質優良の真昆布として輸出
1856	安政３年	駒ケ岳大噴火。特に鹿部村が壊滅的被害を受ける
1860	万延元年	箱館イギリス領事ホヂソン一行が駒ケ岳登山
1868	明治元年	箱館戦争勃発に伴い、榎本軍土方隊が砂原に砲台を築造
1869	明治２年	箱館戦争終結。開拓使が設置。蝦夷を改め北海道とし、11国86郡になる。砂原は渡島国茅部郡に所属
1870	明治３年	本願寺道路軍川～砂原間新道開削
1875	明治８年	砂原郵便局創設
1879	明治12年	砂原村の松川栄蔵が開拓使表彰を受ける
1880	明治13年	砂原村戸長役場が設置。砂原学校が開校
1882	明治15年	開拓使を廃し函館・札幌・根室の３県を設置
1886	明治19年	３県を廃し北海道庁を設置
1889	明治22年	森～長万部間の国道買開通
1891	明治24年	砂原郵便局が本格的集配局となる
1893	明治26年	森～室蘭間の定期航路廃止
1894	明治27年	日清戦争勃発
1895	明治28年	砂原小学校を２学級編成とする。日清戦争終結
1896	明治29年	砂原郵便局で電信・為替事務取扱開始
1897	明治30年	砂原沿岸の景勝美が賛嘆される
1898	明治31年	噴火湾沿岸で定置漁業が盛んになる
1902	明治35年	砂原小学校の補習科２年生を併設。砂原墓地新設
1903	明治36年	函樽鉄道函館～森間開通。森、軍川、駒ケ岳が開駅
1904	明治37年	砂原小学校補習科を廃し、修業２年の高等科を設置。日露戦争勃発
1905	明治38年	日露戦争終結。大沼公園設定

西　暦	年　　号	事　　項
1906	明治39年	砂原村・掛澗村を合併、砂原村とし２級町村制を施行。噴火湾沿岸でトロール漁法が始まる
1908	明治41年	砂原小学校高等科を廃し尋常科６年制を実施
1909	明治42年	砂原消防組創設。駒ケ岳山麓地帯で木炭製造が盛んになる
1910	明治43年	砂原小学校実業補修学校を付設
1912	大正元年	砂原に電灯が点る
1913	大正２年	全道的な凶作で米価高騰、函館市内電車開通
1914	大正３年	第1次世界大戦が勃発。砂原小学校の移転改築が竣工
1916	大正５年	砂原村の阿部勇吉が植林奨励に励む
1917	大正６年	全道的な暴風雪により連絡船欠航・列車各所で不通。大戦の影響から澱粉・青豌豆が暴騰。馬鈴薯栽培熱が高まる。砂原村徽章が制定。沼尻特別教授場開設
1918	大正７年	全道で猛吹雪。全道的にスペイン風邪が流行。南部陣屋跡に忠魂碑建立
1919	大正８年	無限責任砂原漁業協同組合設立
1920	大正９年	室蘭地球岬の灯台点灯・霧信号所吹鳴開始。第1回国勢調査（砂原村2,832人）
1921	大正10年	森～砂原間に私営乗合馬車（橇）運行
1922	大正11年	駒ケ岳小噴火。函館支庁を渡島支庁と改称。大沼公園が道立公園に指定。沼尻墓地新設。
1923	大正12年	駒ケ岳小噴火。道庁命令定期船函館～森線新設。馬頭観音碑建立。砂原港が函館～森間の逓信省郵船補助航路寄港地となる。森～砂原間の電話工事着工。砂原郵便局通話事務開始。駒ケ岳「駒の湯温泉」開湯。旭川第7師団が森・砂原に宿泊。関東大震災
1924	大正13年	駒ケ岳小噴火
1925	大正14年	第2回国勢調査（砂原村3,208人）
1926	大正15年	砂原小学校に砂原青年訓練所付設。森～砂原間に定期バス運行。全道的な大凶作
1927	昭和２年	渡島海岸鉄道東森～砂原間が開通
1928	昭和３年	初めて砂原村内でラジオが聴取。鉄道長万部～東室蘭間全通により、森～室蘭間の航路廃止
1929	昭和４年	大沼～鹿部間開通。駒ケ岳が大噴火。沿岸で大被害。噴火活動収束後、一丸となって復旧に努める
1930	昭和５年	噴火湾沿岸の各村で漁業組合大会が開催。発動機漁船が沿岸に就漁。第3回国勢調査（砂原村3,776人）
1931	昭和６年	満州事変勃発。全道的な冷害により大凶作。砂原村四軒町に火葬場が寄付
1932	昭和７年	砂原尋常高等小学校・沼尻特別教授場新築落成。全道的多雨低温により凶作

西　暦	年　号	事　項
1933	昭和　8年	尾白内郵便取扱所開設。砂原地帯で豪雨、甚大な被害
1934	昭和　9年	函館大火。砂原村役場庁舎新築完成
1935	昭和　10年	砂原郵便局電話交換事務開始。全道的冷害風水害により凶作。第4回国勢調査（砂原村5,455人）
1936	昭和 11年	砂原村立砂原水産青年学校開校。砂原小学校「砂原村郷土読本」を編集
1938	昭和 13年	鹿部村に駒ケ岳噴火災害復旧工事完成記念碑建立
1939	昭和 14年	砂原消防組が砂原警防団と改組
1940	昭和 15年	砂原商業組合設立。第5回国勢調査（砂原村5,822人）
1941	昭和 16年	鹿部～森間バス運航開始。太平洋戦争に突入
1942	昭和 17年	郷土芸能「沼尻駒踊り保存会」編成
1945	昭和 20年	国鉄砂原船森～軍川間が開通。太平洋戦争終結。全国的な凶作・インフレ・食糧難
1946	昭和 21年	砂原村隔離病舎設置
1947	昭和 22年	砂原中学校校舎新築
1948	昭和 23年	砂原村農業協同組合設立
1949	昭和 24年	砂原・掛澗両漁業協同組合設立
1950	昭和 25年	砂原商業協同組合設立
1952	昭和 27年	砂原村教育委員会が発足。砂原砂崎灯台竣工
1954	昭和 29年	乳牛導入事業始まる
1955	昭和 30年	砂原漁業協同組合ホッキ稚貝放流
1959	昭和 34年	放牧地に肉用牛が本格的導入
1961	昭和 36年	砂原漁港竣工
1962	昭和 37年	駒ケ岳山麓砂原村松岡山一帯、別荘用分譲地となる
1963	昭和 38年	広報「さわら」発刊
1965	昭和 40年	砂原村観光協会創立。砂原村栽培漁業ホタテ養殖始まる
1968	昭和 43年	砂原村海岸保全区域指定。栽培漁業昆布養殖始まる。
1969	昭和 44年	国営駒ケ岳山麓開発事業促進協議会発足。砂原～室蘭間、トランジシター海底ケーブル線敷設開始
1970	昭和 45年	砂原町制施行、新庁舎落成
1971	昭和 46年	駒ケ岳が自然休養林に指定
1972	昭和 47年	駒ケ岳山麓鳥獣保護区域に指定。水産加工団地完成
1973	昭和 48年	国保病院が完成
1974	昭和 49年	ホタテボイル工場完成。南部藩屯所跡が国指定となる
1975	昭和 50年	郷土館完成。貝類処理場完成
1976	昭和 51年	全国社会体育モデル指定市町村の指定を受ける
1980	昭和 55年	開基100年・町制施行10周年記念式典開催。公民館完成
1982	昭和 57年	稚ガニの中間育成開始
1986	昭和 61年	ハマナスグリーンパーク、ファミリーヘルスプラザ完成

西　暦	年　号	事　項
1989	平成 元年	砂原町火葬場完成
1990	平成 2年	国道278号線、砂原バイパス完成
1992	平成 4年	花いっぱい運動が開始
1993	平成 5年	北海道南西沖地震。砂原中吹奏楽部創設
1994	平成 6年	特別養護老人ホーム「シャリテさわら」がオープン。町民オーケストラ創設。クロソイ中間育成事業が開始
1996	平成 8年	駒ケ岳が小噴火。砂原町イメージアップ事業開始
1997	平成 9年	3校統合し、さわら小学校開校
1998	平成 10年	「つど～る・プラザ・さわら」オープン（平成11年道の駅指定）。町国保病院から新都市砂原病院に経営を移管。駒ケ岳が小噴火
1999	平成 11年	砂原町地域振興券が交付。ホタテ未利用資源リサイクル施設を整備。観光案内板設置
2000	平成 12年	あったかさわらパークゴルフ場オープン。
2001	平成 13年	やすらぎ公園オープン。さわやかパーク完成
2002	平成 14年	砂原町水源開発事業調査開始。砂原町体育協会創立40周年記念式典開催
2003	平成 15年	長万部町・八雲町・森町・砂原町の４町による北渡島合併問題検討会設立。北渡島合併問題検討会から北渡島合併任意協議会へ移行。北渡島合併任意協議会離脱
2004	平成 16年	管理型最終処分場・漁業系廃棄物リサイクル施設完成。森町・砂原町の２町により合併法定協議会設立。森町・砂原町の両町の町長により、合併協定書への調印が行われる
2005	平成 17年	砂原中学校開校30周年記念式典開催。砂原町閉町する

１０８．官公署・諸団体名簿

“官公署”　　平成25年5月1日現在（順不同・敬称略）

名称	代表者職名	電話
渡島森林管理署森上級森林事務所	首席森林官	村山文勝	２－２７２２
北海道警察函館方面森警察署	署長	尾辻英一	２－０１１０
渡島総合振興局保健環境部森地域保健支所	支所長	木幡千代子	２－２３２３
渡島北部地区水産技術普及指導所	所長	河村治夫	２－２１３６
道立森少年自然の家	所長	阿部眞次	５－２１１０

“学　校”　　平成25年5月1日現在（順不同・敬称略）

名称	代表者職名	電話
北海道森高等学校	校長	都筑守	２－２０５９
町立森中学校	校長	小川原隆男	２－２４０６
町立砂原中学校	校長	鳴海康司	８－２０１２
町立赤井川小学校	－	－	５－２５０４
町立駒ケ岳小学校	校長	津田英昭	５－２２４３
町立尾白内小学校	校長	佐々木宏二	２－２３８９
町立森小学校	校長	増川正志	２－２１１３
町立鷲ノ木小学校	校長	角谷晴雄	２－２０６９
町立石谷小学校	－	－	２－２７１４
町立石倉小学校	校長	樫田勲	７－３３０１
町立濁川小学校	校長	小野俊英	７－３００４
町立さわら小学校	校長	花田譲	８－４１２３
町立森幼稚園	園長	大谷信江	２－１７１７
町立さわら幼稚園	園長	下村由貴子	８－２４６２

“諸団体”　　平成25年10月1日現在（順不同・敬称略）

名称	代表者職名		電話
森商工会議所	会頭	伊藤新吉	２－２４３２
砂原商工会	会長	澤田博昭	８－４０５６
森地方中小企業相談所	所長	氏家政雄	２－２４３２
森漁業協同組合	代表理事組合長	松居俊治	２－２２２２
砂原漁業協同組合	代表理事組合長	坂本藤吉	８－２５５０
新函館農業協同組合森基幹支店	支店長	岩田健二	２－２３８６
森水産加工業協同組合	代表理事組合長	木村俊一	２－２１５９
森地区水産加工振興協議会	会長	木村俊一	２－２４３２
砂原水産加工協議会	会長	坂本徳博	８－４０５６
道南農業共済組合駒ヶ岳大沼家畜診療所	所長	國本隆美	５－３６５０
はこだて広域森林組合茅部事業所	所長	阿部達也	２－７１８１
森鮮魚仲買人組合	組合長	川村隆人	２－２３７２
森町冷凍事業協会	会長	進藤博且	２－２０１８
森地方食品安全協会	会長	佐々木修	２－４２４１
森ライオンズクラブ	会長	稲見英俊	２－２０２４
砂原ライオンズクラブ	会長	木下勧	８－４０５６
森ローターリークラブ	会長	吉田好	２－２４３２
森青年会議所	理事長	小川晃史	２－２４３２
月曜会	幹事長	伊藤新吉	２－２４３２
森観光協会	会長	石岡眞喜雄	２－２４３２
森町建設協会	会長	河野昭彦	２－５０６９
森町物産協会	会長	大塚昌彦	２－２４３２
砂原物産館運営振興会	委員長	坂本佑介	８－２８２８

“関係機関”　　平成25年10月1日現在（順不同・敬称略）

名称	代表者職名	電話
森町	町長　梶谷惠造	２－２１８１
森町議会	議長　野村洋	２－２１８５
森町教育委員会	委員長　三輪雅子	３－３６４０
森町農業委員会	会長　宮本秀逸	２－２１８１
森町選挙管理委員会	委員長　山崎眞二	２－２１８１
森町監査委員	代表監査委員　池田勝元	２－２１８１
森町固定資産評価審査委員会	委員長　坂本藤吉	２－２１８１
森町消防本部	消防長　山田春一	２－２１２５
森町消防署	署長　平田茂	２－２１２５
森町消防団	団長　平田恒彦	２－２１２５
森町防火協会	会長　佐藤友昭	２－２１２５
森町婦人消防クラブ連合会	会長　菊地セツ	２－２１２５
森町国民健康保険病院	院長　川崎和雄	２－２５８０
森町広報委員会	委員長　岩島隆幸	２－２１８１
森町防災会議	会長　梶谷惠造	２－２１８１
森町交通安全運動推進委員会	会長　梶谷惠造	２－２１８１
森地区交通安全協会連合会	会長　鹿原庸嗣	２－０１１０
森町交通安全協会	会長　鹿原庸嗣	２－２１８１
森町交通安全指導員協議会	会長　櫻田貞昭	２－２１８１
森町交通安全母の会	会長　安藤千鶴子	２－２１８１
森地区安全運転管理者協会	会長　鹿原庸嗣	２－０１１０
森自動車運転者協会	会長　鹿原庸嗣	２－０１１０
函館地方安全運転管理者事業主会森支部	支部長　水野建	２－０１１０
森町社会福祉協議会	会長　伊藤秀信	３－２２８０
北海道共同募金会森町共同募金委員会	会長　森静子	３－２２８０
日本赤十字社森分区	分区長　梶谷惠造	２－２１８１
日本赤十字社森町奉仕団	委員長　村関容子	２－２１８１
日本赤十字社水上安全奉仕団	委員長　休団	２－２１８１
森町民生委員協議会	会長　磯尾英諄	２－２１８１
森町遺族会	会長　坂本元	２－２１８１
森町青葉母子寡婦会	会長　三浦千枝	２－２１８１
森町手をつなぐ育成会	会長　中澤克宣	３－２２８０
森町身体障害者福祉協会	会長　三橋善美	３－２２８０
森町町内会連合会	会長　阿部邦夫	２－２１８１

“関係機関”　　平成25年11月 1日現在

名称	代表者職名	電話
森町老人クラブ連合会	会長 中川一榮	３－２２８０
森地区保護司会	会長 福田浩治	２－１５７８
森町更生保護女性会	会長 相澤文子	５－２５２２
森町ボランティア連絡協議会	会長 長内生人	３－２２８０
森町ボランティアの会	会長 加藤菊子	２－５４２２
森地区防犯協会	会長 梶谷惠造	２－２１８１
森町青少年問題協議会	会長 梶谷惠造	２－２１８１
森町国民健康保険運営協議会	会長 梅津茂樹	２－２１８１
森町保健医療協議会	会長 川崎和雄	３－２３１１
森町営農指導対策協議会	会長 梶谷惠造	２－２１８１
北海道猟友会森支部	支部長 青山久雄	２－２１８１
森・澄川第１地区ハウス利用組合	組合長 伊藤博之	７－３４２８
濁川温泉熱利用そ菜生産組合	組合長 出口政彦	７－３２２０
森・濁川第１ハウス利用組合	組合長 柴田　理	７－３０６６
森町シルバー人材センター	理事長 葛西雅行	２－０４２３
森町健康推進委員会	委員長 清水八重子	３－２３１１
森町教育水準向上対策協議会	会長 梶谷惠造	３－３６４０
森町教育振興育英会	会長 梶谷惠造	３－３６４０
森町連合Ｐ・Ｔ・Ａ	会長 小笠原郁子	２－２４０６
社会教育委員会	委員長 谷内　博	２－２１８６
森町文化協会	会長 佐々木エミ	２－２１８６
森町図書館協議会	委員長 山口　誠	２－５５１５
森町文化財調査委員会	委員長 佐川哲彦	２－２１８６
森町体育施設運営協議会	委員長 小笠原　喬	２－１２３４
森町スポーツ推進委員会	委員長 木村　孝	２－１２３４
森町体育協会	会長 小笠原　喬	２－１２３４
森町女性団体協議会	会長 村関容子	２－２１８６
北海道男女共同参画プラン森町推進協議会	会長 小杉久美子	２－２１８６
森町若妻サークル連絡協議会	会長 中村しの	２－２１８６
森町食生活改善協議会	会長 小坂ユミ	３－２３１１
森地区連合会	会長 古村正明	２－３９５２
森町認知症の人と共に歩む会	会長 関　利惠子	３－２３１１

“町内会長”　　平成25年 6月 1日現在

町内会名	町内会長名
赤井川	伊藤秀信
駒ケ岳	長岡輝仁
尾白内町	梅本勲
尾白内町南部	葛西義彦
白川	黒田貢
東森町	松田兼宗
港町	坂本元
新川町	清水悟
常盤町	輪島豊
森川町	武田定男
姫川	宮本秀逸
御幸清澄	阿部邦夫
本町東部	金山憲一
本町西部	堀尾義照
上台町	石山嘉治
みどりヶ丘	阿部日出夫
鳥崎町	岡田康帆
富士見町	吉川満春
鷲ノ木町	川越賢二
蛯谷町	松田壽雄
本茅部町	髙田和治
石倉東部	倉田偉一郎
石倉中部	坂本正則
石倉西部	黒坂清一
濁川	竹田弘之
二ツ山	小野昭男
沼尻	岩城正幸
彦澗第1	三上清一
彦澗第2	西村隆
彦澗第3	輪島忠徳
会所第1	新谷春勝
会所第2	伊藤邦男
四軒町	宮口巖
砂原2丁目	澤田正幸
砂原中央	佐々木裕
度杭崎第1	西村豊
さわやか町内会	三浦浩三
場中第1	畑中烈
場中第2	森健一郎
小石崎	佐川敏男
押出	岩内正隆

１０９．森町公共施設

名称	住所	電話
森町役場	御幸町144－1	２－２１８１
森町砂原支所	砂原1丁目43－4	８－３１１１
森町保健センター	森川町278－2	３－２３１１
森町地域包括支援センター	森川町278－2	３－２３２２
森町浄水場（森町上下水道課）	上台町326－1	２－０９８５
森町公民館（福祉センター）	御幸町132	２－２１８６
森町砂原公民館	砂原1丁目31－3	８－３１９０
森町図書館	御幸町172　ＮＴＴ森ビル1Ｆ	２－５５１５
森町学校給食センター	森川町280－4	２－３２３３
森町国民健康保険病院	上台町326	２－２５８０
森町立特別養護老人ホーム（さくらの園）	森川町278－2	２－０２８１
森町衛生センター	砂原東5丁目99－14	８－３３２０
森町森浄化センター	尾白内町844－2	２－２３７７
森町一般廃棄物最終処分場	尾白内町1142－1	２－００４８
森町さわら一般廃棄物最終処分場	砂原2丁目600－154	８－４１８４
森町水産系副産物再資源化施設	尾白内1142－1	２－７８００
森町漁業系廃棄物リサイクル施設	砂原5丁目124－1	－
ホタテ未利用資源リサイクル施設	砂原6丁目13－11	８－２４５５
森町消防本部	森川町280－4	２－２１２５
森町消防署砂原支所	砂原1丁目60－1	８－２１５６
森町葬苑	霞台30－2	２－１２９４
さわら斎場	砂原西4丁目185－140	８－３９０４
森町リサイクルプラザ	砂原東4丁目2－39	８－３３２０
赤井川特別母と子の家	赤井川232－6	５－２８１１
駒ケ岳特別母と子の家	駒ケ岳232－44	５－２８２４
尾白内生活館	尾白内町528－1	２－３７９０
尾白内南部生活改善センター	尾白内町1046	２－０９３８
森町農業集落センター	白川38－6	２－０９９３
姫川福祉会館	姫川45－1	２－０６０６
東森生活館	東森町129-48	２－０６１４
森町漁村センター	港町185－3	２－６６４９
常盤福祉会館	常盤町97－2	２－４８８３
新川老人いこいの家	新川町157－2	２－４７９５
森川児童館	森川町80－2	２－２８６４
森町基幹集落センター	森川町278－2	２－４７９４
森川姫川生活改善センター	森川町208	２－１６９６
緑の家（森町身体障害者福祉会館）	清澄町22－4	２－０９９８

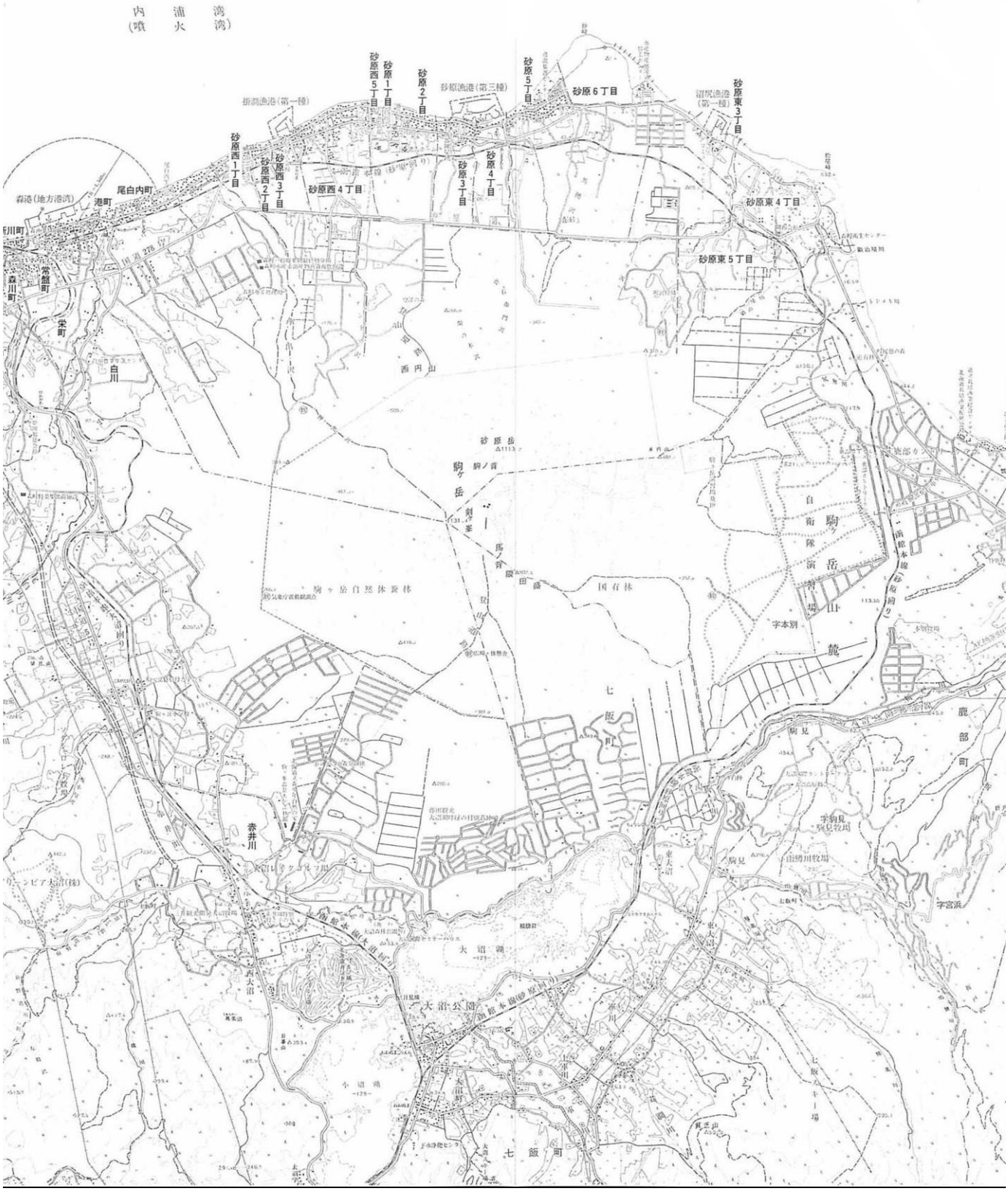
名称	住所	電話
上台地区活性化支援センター	上台町326-18	２－１３００
本町東部町内会館	本町22	２－２８０２
鳥崎生活改善センター	鳥崎町186	２－０９９２
鷲ノ木生活館	富士見町109	２－０８０９
蛯谷生活館	蛯谷町158、159	２－３５９５
本茅部福祉会館	本茅部町92－1	２－０９６２
下濁川生活改善センター	本茅部町165	７－３２４９
石倉生活館	石倉町136－5、6	７－３０１９
石倉西部福祉館	石倉町268－17、18	７－３２４８
濁川生活改善センター	濁川231	７－３０７０
濁川地区会館	濁川182－3	７－３２３０
三岱地区会館	三岱33	７－３２６９
勤労者の家	上台町326	２－３９５２
みどりヶ丘会館	上台町330	２－６０３８
掛澗生活館	砂原西1丁目225－1	８－２３７８
砂原婦人会館	砂原西3丁目47－33	８－２９４４
さわやかセンター・砂原	砂原西4丁目234－4	８－２３８０
砂原特別母と子の家	砂原3丁目35	８－２２６４
彦澗集落センター	砂原5丁目140	８－２７８０
沼尻コミュニティセンター	砂原東3丁目45－28	８－４００９
開拓会館	砂原東4丁目1－106	８－３４９２
尾白内保育所	尾白内町539	２－２９６９
港町保育所	港町91	２－２５１２
新川保育所	常盤町12－1	２－２５４３
森保育所	清澄町12	２－２５７９
鷲ノ木生保育所	富士見町109	２－２９３３
濁川保育所	濁川203-1	７－３４１０
森幼稚園	上台町148－3	２－１７１７
さわら幼稚園	砂原1丁目12－4	８－２４６２
赤井川小学校	赤井川117(休校中)	５－２５０４
駒ケ岳小学校	駒ケ岳453	５－２２４３
尾白内小学校	尾白内町948	２－２３８９
森小学校	清澄町27－1	２－２１１３
鷲ノ木小学校	鳥崎町195	２－２０６９
石谷小学校	蛯谷町153（休校中）	－
石倉小学校	石倉町283	７－３３０１
濁川小学校	濁川201	７－３００４

名称	住所	電話
さわら小学校	砂原1丁目41－1	８－４１２３
森中学校	上台町326－1	２－２４０６
砂原中学校	砂原2丁目188-14	８－２０１２
森町児童ディサービスセンター	姫川48	２－２２９７
展望物産館プラザ（道の駅）	上台町326-18	２－４８８６
つど～る・プラザ・さわら（道の駅）	砂原2丁目358－1	８－２８２８
やすらぎ公園	砂原2丁目165－1	８－２９４９
鷲ノ木史跡公園会館	鷲ノ木町168－1	２－０９６９
森町郷土館	砂原4丁目147	８－２９６７
駒ヶ峯温泉ちゃっぷ林館	駒ケ岳657-16	５－２８８０
駅前ふれあいセンター	本町6－22	２－５６１５
まちの駅	本町6－22	３－２７８８
町民体育館	清澄町24－2	２－１２３４
森青少年会館	清澄町23－2	２－３５９６
サン・ビレッジ森	清澄町25－6	２－３２４９
ペタンク場兼ゲートボール場	清澄町25－6地内	－
町民野球場	上台町326－1	－
町民パークゴルフ場兼町民スキー場	上台町326－1	2-1290（公衆電話）
ファミリーヘルスプラザ（町民プール）	砂原西4丁目267－1	８－３８２３
ふるさと交流館	砂原1丁目60－1	８－４２５５
ふれあいの森（パークゴルフ場）	砂原3丁目242	８－５５６２
総合運動公園	砂原1丁目22－10	－
森町沼尻いこいの広場	砂原東3丁目46－1	－
森町交流支援センター	御幸町3－2	２－７６６６

MEMO

石倉漁港(第一種)
石倉町
本茅部町
蛯谷漁港(第一種)
蛯谷町
鷲ノ木漁港(第一種)
鷲ノ木町
本町
御幸町
富士見町
鳥崎町
清澄町
坊主山
濁川
濁川温泉
清瀧
桂川
八雲町
毛無山
栗ヶ丘
霞台
森町
森川山
姫川
駒ヶ岳
狗神岳
三九郎岳
二股岳
北斗市
厚沢部町
三角山
風向風速風配図
N
NE
E
SE
S
SW
W
NW
静穏
16.2%
風向 %
風速 m/s
記号

森町管内図



内浦湾
(噴火湾)
砂原西5丁目
砂原1丁目
砂原2丁目
砂原5丁目
砂原6丁目
砂原東3丁目
砂原西1丁目
砂原西2丁目
砂原西3丁目
砂原西4丁目
砂原3丁目
砂原4丁目
砂原東4丁目
砂原東5丁目
砂原岳
駒ヶ岳
駒ヶ岳自然休養林
国有林
自衛隊演習場
駒ヶ岳山麓
七飯町
鹿部町
赤井川
大沼公園
大沼湖
小沼湖
西大沼
東大沼
駒見
字宮浜

森　町　統　計　書

平 成 ２５ 年 版

平成２５年３月発行

〈発　行〉　　北　海　道　森　町

〈編　集〉　　森町企画振興課統計係

〒049-2393　北海道茅部郡森町字御幸町144番地の1

電　話　01374-7-1283

ＦＡＸ　01374-2-3244

MORI